

令和8年7月

※ 消費税・諸経費込み

糸魚川市供内管工事単価表

糸魚川市ガス水道局

1) 白鋼管 (一般木造住宅)

(円/m)

工種 \ 口径	20A	25A	32A	40A	50A	80A
新 増 設	6,062	7,768	9,764	10,865	14,048	21,610

2) 白鋼管 (鉄筋・鉄骨建物)

(円/m)

工種 \ 口径	20A	25A	32A	40A	50A	80A
新 増 設	6,570	8,409	10,563	11,761	15,209	23,365

3) 白鋼管 (溶接)

(円/m)

工種 \ 口径	50A		80A		100A	
	布設(m)	溶接(箇所)	布設(m)	溶接(箇所)	布設(m)	溶接(箇所)
新 増 設	6,001	26,995	9,208	26,995	11,809	29,995

4) 被覆鋼管 (露出部・地中埋設部)

※ 掘削埋戻費は別途計上する

(円/m)

工種 \ 口径	20A	25A	32A	40A	50A	80A
新 増 設	11,216	13,503	17,061	19,033	24,720	36,929

5) ポリエチレン管 (灯外・灯内々管)

※ 掘削埋戻費は別途計上する

(円/m)

工種 \ 口径	30A	50A	75A	100A
新 増 設	6,860	9,256	13,806	18,960

○E F 接合とする

6) 供給管工事 (ポリエチレン管)

(円/m)

工種 \ 口径	30A	50A	75A	100A
新 増 設	5,324	7,465	10,502	14,822

7) 仮配管 (白鋼管)

(円/m)

工種 \ 口径	20A	25A	32A	40A	50A	80A
新 増 設	6,207	7,744	9,571	10,539	13,370	20,086

8) 撤去工事 ※ 廃材処理費含む (円/m)

工種 \ 口径	20A	25A	32A	40A	50A	80A
	1,282	1,597	1,960	2,165	2,783	4,138

9) フレキ管工事 (ガスフレキ管) (円/箇所) (円/m)

工種 \ 口径	10A		15A	
	基本工事	1m当り	基本工事	1m当り
新 増 設	7,913	3,025	8,240	3,400

工種 \ 口径	20A		25A	
	基本工事	1m当り	基本工事	1m当り
新 増 設	10,309	4,343	13,721	5,916

10) カラン取付費 (円/箇所)

単 価	3,509
-----	-------

○壁貫通コンセントカランの取付に適用

11) カラン取替費 (円/箇所)

	普 通	特 殊
単 価	3,073	3,388

○特殊は露出型以外 (壁型・床型) に適用

12) 器具接続費 (円/箇所)

	15A~25A	32A~50A	80A以上	可とう管
単 価	4,573	7,695	13,515	4,392

13) 支持金具取付費 (円/箇所)

	カルプ ラグ	アンカーボルト	溶 接
単 価	1,754	2,141	2,988

14) 切断連絡費 (円/箇所)

	15A~25A	40A	50A	80A以上
単 価	4,222	5,808	6,195	8,494

○切断し機械継手により連絡する場合、又は手ネジを切る場合に適用

15) 塗装費 (円/m)

	15A~25A	32A~50A	80A以上
単 価	955	1,137	1,657

16) コンクリートはつり費 (円/m)

	15A~50A	80A以上
単 価	9,752	12,487

17) コンクリート穴あけ費 (円／個所)

	50A以下		80A以上	
	25cm未満	25cm以上	25cm未満	25cm以上
単 価	8,591	18,343	9,752	20,691

18) バルブ取付費 (円／個所)

	15A～20A	25A～32A	40A～50A	80A以上
単 価	3,521	4,840	7,042	14,967

○フランジ型・機械継手型・PEバルブの設置に適用

19) ボックス設置費 (円／個所)

単 価	10,115
-----	--------

○ボディ、ベースなどの加工のある場合に適用

20) メーター取付（取替）費 (円／個所)

	10号以下	16号	25・40号	65号	100号
取 付 費	2,770	3,206	6,062	16,806	25,107
取 替 費	4,622	5,324	10,043	35,634	51,461

○取付費は、新設工事及びメーター器周りの配管を伴う改造工事に適用

21) 取出工事費 (円／個所)

管 種	工 種	32A(30A)	50A	80A
鋼 管	溶 接	42,265	69,369	113,340
鋳 鉄 管	クランプ	47,202	68,510	95,166
ポリエチレン管	E F	8,179	9,958	14,943

○取出しに必要な工程、材料費含む（鋳鉄管のクランプ及びポリエチレン管のEF-STは別途計上）

22) 切断取出費

①被覆鋼管 (円／個所)

口 径	32A×32A	50A×50A
単 価	38,599	66,489

○取付しに必要な工程、材料費含む（元管接続部の継手のみ別途計上）

②ポリエチレン管 (円／個所)

口 径	50A×50A	100A×75A
単 価	33,311	135,834

○取付しに必要な工程、材料費含む

23) ストッパー口取付費 (円／個所)

管 種	工 種	単 価
鋼 管	溶 接	24,780
ポリエチレン管	E F	4,404

○パイパーストールは別途計上

○口径に関係なく一定とする

24) 供給管撤去費

(円／個所)

	20A～25A	32A～40A	50A	80A
単 価	6,376	9,038	11,737	17,545

○廃材処理費含む

25) ポリエチレン管切断撤去費

(円／個所)

	30A	50A	75A
単 価	5,553	7,889	13,068

○廃材処理費含む

○E F - C a 含む

○ポリエチレン管をキャップ止めをする場合に適用

26) 防食工

(円／m)

	20A	25A	32A	40A	50A	80A
単 価	4,089	4,598	5,360	5,808	7,223	9,389

○資材費、労務費含む

○ペトロラタムテープ二重巻＋防食テープ巻

27) 宅地内掘削費

①機械掘削

(円／m)

掘削深 工種	単独施工		同時施工	
	一部入替	転 用	一部入替	転 用
H＝0.3m		1,040		520
0.5m	4,815	2,613	2,408	1,307
0.7m	5,808	3,666	2,904	1,833
1.0m	11,374	8,155	5,687	4,078
1.2m	12,983	9,788	6,492	4,894
1.3m	13,781	10,599	6,891	5,300
1.4m	14,580	11,422	7,290	5,711

②人力掘削

(円／m)

掘削深 工種	単独施工		同時施工	
	一部入替	転 用	一部入替	転 用
H＝0.3m		2,553		1,277
0.5m	9,861	6,388	4,931	3,194
0.7m	12,342	8,954	6,171	4,477
1.0m	24,986	19,892	12,493	9,946

○掘削・埋戻し・残土処理を含み、路面工・路盤工なし

○一部入替の場合、保護砂0.3mとする

○掘削深度0.3mの場合、上幅＝0.3m 下幅＝0.3m

○掘削深度0.7mまでは、上幅＝0.5m 下幅＝0.4m

○掘削深度1.0m以上は、上幅＝0.8m 下幅＝0.6m

28) 縦横断用掘削工事費 (上幅＝0.8m 下幅＝0.6m)

①機械掘削

(円/m)

区 分	工 種	0.7m	1.0m	1.2m	1.3m	1.4m
アスファルト	総入替	15,403	20,618	24,066	25,809	27,563
	一部入替		16,613	18,222	19,021	19,844
コンクリート	総入替	32,355	37,558	41,031	42,749	43,802
	一部入替		33,843	35,453	36,251	36,384
砂 利 道	総入替	12,971	18,210	21,659	23,401	24,212
	一部入替	11,083	13,491	15,100	15,899	16,710

②人力掘削

(円/m)

区 分	工 種	0.7m	1.0m
アスファルト	総入替	26,644	35,695
	一部入替		31,230
コンクリート	総入替	43,705	52,743
	一部入替		48,593
砂 利 道	総入替	20,545	29,620
	一部入替	19,674	24,369

○ガス水道同時施工の場合は各々50%単価とする

○掘削・埋戻し等の土木関係の骨材及び労務費の一切を含む

○舗装切断費は別途計上する

○舗装(路面)復旧及び上層路面工事も含む。ただし、アスファルトの本復旧、仮復旧及び配管費は別途計上する

○機械掘削工事を適用する場合は重機運搬費を別途計上する

29) 縦横断用掘削工事費 (上幅＝0.5m 下幅＝0.4m)

①機械掘削

(円/m)

区 分	工 種	0.7m	1.0m	1.2m
アスファルト	総入替	9,849	13,201	15,439
	一部入替		10,623	11,664
コンクリート	総入替	20,436	23,788	26,027
	一部入替		21,404	22,445
砂 利 道	総入替	8,349	11,688	13,915
	一部入替	7,139	8,675	9,716

②人力掘削

(円/m)

区 分	工 種	0.7m	1.0m
アスファルト	総入替	17,012	22,832
	一部入替		19,965
コンクリート	総入替	27,672	33,480
	一部入替		30,818
砂 利 道	総入替	13,225	19,033
	一部入替	11,882	15,681

○ガス水道同時施工の場合は各々50%単価とする

○掘削・埋戻し等の土木関係の骨材及び労務費の一切を含む

○舗装切断費は別途計上する

○舗装(路面)復旧及び上層路面工事も含む。ただし、アスファルトの本復旧、仮復旧及び配管費は別途計上する

○機械掘削工事を適用する場合は重機運搬費を別途計上する

30) 重機運搬費 (1 工事)

単 価	17,762
-----	--------

○ガス水道同時施工の場合は各々50%単価とする

31) 簡易舗装取壊し費 (円/㎡)

単 価	69,333
-----	--------

○コンクリート、アスファルトの区別なし

○ガス水道同時施工の場合は各々50%単価とする

○取り壊し後の後片付け(殻処理)も含む

○舗装の切断がある場合は別途計上する

32) 舗装切断工事 (円/㎡) (円/回)

	10cm以下	15cm以下	小規模
アスファルト	834		25,410
コンクリート		1,524	37,510

○ガス水道同時施工の場合は各々50%単価とする

○小規模は切断延べ延長が15m以内の工事で、作業回数で計上する

33) コンクリート舗装復旧工事 (円)

工 種	単 価	単 位	備 考
コンクリート復旧	9,546	㎡	生コンD号 t=15cm
〃	110,013	㎡	人力練り 普通ポルトランドセメント

○ガス水道同時施工の場合は各々50%単価とする

34) 砂利道復旧工事 (円)

工 種	単 価	単 位	備 考
路面工(砂利道)	980	㎡	クラッシャーラン(25mm)

○ガス水道同時施工の場合は各々50%単価とする

35) 安全費 (円)

工 種	単 価	単 位	備 考
安 全 費	16,008	式	安全管理に関する費用
交 通 整 理 員	28,120	人	

○安全費には道路使用申請費用を含む

○ガス水道同時施工の場合は各々50%単価とする

36) アスファルト本復旧作業費

(円)

工 種	単 価	単 位	備 考
AS本復旧作業（最低保証）	108,149	式	16㎡まで 材料別途
AS本復旧作業（16㎡超過）	1,754	㎡	材料別途

○本復旧を行った場合に最低保証を計上

○復旧面積が16㎡を超えた場合に超過した面積を㎡で計上

○ガス水道同時施工の場合は各々50%単価とする

37) アスファルト本復旧材料費

(円)

工 種	単 価	単 位	備 考
AS本復旧材料⑤（最低保証）	27,539	式	3.9㎡まで ⑤密粒度アスコン（新20FH）t=5cm
AS本復旧材料⑤（3.9㎡超過）	6,981	㎡	⑤密粒度アスコン（新20FH）t=5cm
AS本復旧材料⑦（最低保証）	30,189	式	3.9㎡まで ⑦密粒度アスコン（新20FH）改質Ⅰ型t=5cm
AS本復旧材料⑦（3.9㎡超過）	7,647	㎡	⑦密粒度アスコン（新20FH）改質Ⅰ型t=5cm

○本復旧を行った場合に最低保証を計上

○復旧面積が3.9㎡を超えた場合に超過した面積を㎡で計上

○ガス水道同時施工の場合は各々50%単価とする

38) アスファルト仮復旧作業費

(円)

工 種	単 価	単 位	備 考
AS仮復旧作業	1,754	㎡	材料別途

○仮復旧を行った面積を㎡で計上

○ガス水道同時施工の場合は各々50%単価とする

39) アスファルト仮復旧材料費

(円)

工 種	単 価	単 位	備 考
AS仮復旧材料⑨（最低保証）	12,813	式	6.6㎡まで ⑨密粒度アスコン（13F）t=3cm
AS仮復旧材料⑨（6.6㎡超過）	1,439	㎡	⑨密粒度アスコン（13F）t=3cm

○仮復旧を行った場合に最低保証を計上

○仮復旧面積が6.6㎡を超えた場合に超過した面積を㎡で計上

○ガス水道同時施工の場合は各々50%単価とする

40) 区画線工

(円)

工 種	単 価	単 位	備 考
区画線工	62,920	式	5か所まで W=15cm

○5か所を超える場合には1か所当たり7,000円加算

○ガス水道同時施工の場合は各々50%単価とする

資材単価表（抜粋）

型 番	品 名	寸法	単 価
G013-12	LA1口ヒューズコック	9.5A	9,329
G013-21		13A	11,616
G023-12	LA2口ヒューズコック	9.5A	20,933
G015-12	LB1口ヒューズコック	9.5A	10,841
G015-21		13A	13,189
G025-12	LB2口ヒューズコック	9.5A	20,933
G013A-12	LAコンセントヒューズコック	9.5A	9,583
G015A-12	LBコンセントヒューズコック	9.5A	11,253
G025-12R	LB2口ヘアヒューズガス栓	9.5A	21,296
G025-12L		9.5A	21,296
G856A5-07D	ガスコンセント壁埋込1口	9.5A	12,463
	ガスコンセント後付固定枠		1,331
	ガスコンセント先付固定枠		1,960
331N	I型可とう管コック	13A	6,255
333N	L型可とう管コック	13A	6,255
G98D	ハンドコック	15A	6,340
		20A	8,010
G87	サービスコック	20A	6,231
		25A	8,167
	化粧割座金		294
502	TU式Lアダプター	15A	2,565
503	TU式Sアダプター	15A	2,613
511	オネジアダプター	15A	1,536
	検圧プラグ		3,339
GMU333WG-11	メーター廻りユニット	1P	16,335
	標示杭(L=450)		2,395
	標示ピン		1,306
G331U5	I型フレカス栓 (ブッシュインハート継手)	15×15	9,389
		20×15	10,648
		20×20	10,841
G333U5	L型フレカス栓 (ブッシュインハート継手)	15×15	9,087
		20×20	10,841
G334U5	L型フレカス栓 外ネジ仕様 (ブッシュインハート継手)	15×15	9,087
FIS	フレキ継手 片ネジソケット (ブッシュインハート継手)	10×15	2,649
		15×15	2,891
		20×15	4,452
		20×20	4,452
		25×20	7,018
		25×25	7,018

品 名	寸 法	単 価	
		S型	SL自在型
強化ガスホース	×0.2m	3,956	8,143
	×0.3m	4,150	8,482
	×0.4m	4,356	8,820
	×0.5m	4,573	9,147

品 名	寸 法	単 価	
		屋内用	屋外用
メタルホース	15A-20cm	6,328	7,840
	-25cm	6,642	8,010
	-30cm	6,945	8,881
	20A-20cm	7,635	9,861
	-25cm	8,409	10,006
	-30cm	9,268	10,962

品 名	寸 法	単 価	
		ステンレス	鋼製
支持金具 立型バンド+T字足	20A~25A	4,900	919
	32A~40A	5,384	992
	50A	5,711	1,089

品 名	寸 法	単 価
支持金具 (P-130 SUS304)	20A	3,291
	25A	3,351

糸魚川市供給管・内管工事仕様

1. 使用材料

- a. 鋼管は【JIS3452】に規定されている配管用炭素鋼管（S・G・P）の亜鉛メッキを施したものの又は外面被覆を施したもので、継目無管又は電縫管とする。
- b. ポリエチレン管は【JISK6774】で規定されたもので、推奨マーク表示のあるものとする。
- c. 継手は【JISB2301】に規定されている亜鉛メッキを施したものであるものとする。
- d. 被覆継手は、日立、協成、JFE継手もしくはこれらと同等品とする。
- e. ポリエチレン管継手は、【JISK6775】で規定されたもので、推奨マークのあるものとする。
- f. ガス栓類は光陽産業、藤井合金、多田精工のヒューズガス栓および可とう管コックを使用する。

2. 配管部位による使用管種

- ①供給管……………ポリエチレン管を使用する。
- ②灯外内管……………原則としてポリエチレン管を使用する。延長が1.0m以内または十分な埋設深度がとれない場合は被覆鋼管も可とする。
- ③灯内内管……………埋設部は被覆鋼管もしくはポリエチレン管、露出部は耐光性を有するアイボリーのカラー鋼管もしくは白鋼管、隠ぺい部は鋼管もしくはフレキ管を使用する。
- ④メーター周り……カラー鋼管を使用し、立管上部にメーター周りユニットを設置し、メーターを取り付ける。

3. カラー鋼管における余ネジカバーの隙間の充填

露出部においてカラー鋼管に被覆継手等を接続する場合は、余ネジカバーとの隙間にブチルゴムテープを充填し、指で擦り付けて水分が浸入しないようにすること。
埋設部についてはゴムパッキンも可とする。

4. 単価の見積

本単価表にない特別の工程又は材料を使用する場合は、その都度別途見積りとする。

5. 配管延長の計上

配管延長は口径毎に0.5メートル単位で計算し、端数は切り捨てる。ただし、全延長が0.5メートル未満の時は0.5メートルとする。（注：設計書には実数量を記載すること）

6. 工事区分

- a. 白鋼管（一般木造住宅）……戸建・集合を問わず、木造住宅に適用
- b. 白鋼管（鉄筋・鉄骨建物）……鉄筋・鉄骨、ブロックその他これらに類似する建築物に係る工事に適用
- c. 被覆鋼管……………被覆鋼管を使用する工事に適用
- d. ポリエチレン管……………灯外・灯内内管でポリエチレン管を使用する工事に適用
- e. 仮配管……………仮設工事が必要な場合に適用し、配管から撤去までの全ての工程を含む
- f. 撤去工事……………管種を問わず撤去工事に適用
- g. 供給管……………事業者（市）負担で施工する工事に適用
- h. フレキ管……………灯内内管でガスフレキ管を使用する工事に適用

設計施工上の留意事項

- 1) ガス工事費の諸経費（設計・監督費）は直接工事の10%とする。
（設計費4.5%、監督費5.5%）
- 2) 特殊カラン取付費は、壁貫通コンセントカランの取り付けに適用する。
- 3) カラン取替費は、配管延長のない取り替えのみの場合に適用する。
- 4) 可とう管接続費は、強化ガスホース接続、金属フレキ接続の場合に適用する。
- 5) 湯沸器の接続は、器具接続費を準用する。
- 6) 切断連絡費は、鉄管を切断し機械継手で連絡する場合と、切断後手ネジを切る場合に適用する。
- 7) 塗装は二回塗りとする。
- 8) コンクリートはつり費は、コンクリートをはつり、コンクリート内にガスを埋設する場合に適用する。
- 9) スリーブの設置費は、コンクリート穴あけ費の50A以下、厚さ25cm以下の単価を準用する。
- 10) メーター器の異型取替費は、三方自在の継手材料費を含む。
- 11) 鋳鉄管からの取出しは、原則としてクランプを使用すること。
- 12) 埋設部分及び被覆鋼管の機械継手には被覆鋼管用（PLSM等）を使用すること。
- 13) 供給管撤去費は、供給管の切断、撤去を含み、元管でプラグ止めをすることを原則とする。
- 14) 水道とガスの本支管の離隔距離が50cm以内の場合には、取出掘削費については、単価を1/2計上すること。また、この場合は深い方の掘削深度の単価を適用する。
- 15) 取出掘削費の深度は、管底+10cmとする。
- 16) 本支管の埋設深度が浅く、取出し後すぐに立ち下げて供給管を施工する場合には、取出掘削費の深度を供給管の掘削深度に合わせる。
- 17) 供給管横断後の民地での掘削は、別途宅地内掘削費を計上すること。
- 18) 供給管及び灯外内管（一部灯内内管も可）は、ポリエチレン管を使用すること。
- 19) 鉄筋・鉄骨建物の白鋼管の適用単価は、建物の新築、改築に係るものに用い、増築などの部分的で小規模な工事には適用しないこと。
- 20) フレキ管工事は、原則として基本工事一式と配管延長を計上する。ヘッダーを設置する場合は別途見積とする。
- 21) 基本工事の単価にはフレキ配管1次側の継手の材料費・施工手間、2次側の継手の施工手間が含まれている。2次側の継手の材料費は含まれていないので別途計上する。
（フレキで器具に直接接続する場合、基本工事に施工手間が含まれているため器具接続費は計上しない）
- 22) 白鋼管（溶接）は、配管延長（布設）と溶接箇所数（溶接）を計上する。
溶接箇所数は1口1箇所と計上する（チーズ…3箇所、エルボ・ソケット等…2箇所）